

森林を知る

森林の主な働き

森林の役割ってなんだろう。森を守ることがどういかに繋がっていくのか、まずは森林の役割を知ることが最初の一歩目です。

温室効果ガスの削減

木々は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収します。(※エネチャレ2035：浪江町は2035年度までにカーボンニュートラルを目指します)



自然災害の防止

木々が根を張ることで土砂崩れを防ぎます。また、下草や落葉・枝などが表土の流出を抑えます。



水資源の貯蓄・浄水

雨水をゆっくり土の中に浸透させ、洪水時や無降雨時の川の流れを調節します。さらに染み込んだ雨水を浄化します。



森林の身近な働きでは、建築資材などでの木材利用、森林浴や登山を楽しむことができた、野鳥の生息の場など多くの働きを持っています。しかし、その働きは森林が健全な状態であれば発揮されません。人工林は、木を間引く「間伐」という手入れを行わないと、木々が密集し、森林内に光が届かず下草も生えなくなります。そうすると、森林の働きが弱まり、洪水や土砂崩れなどにより、私たちの暮らしにも影響を及ぼすことがあります。そのほかにも、森林は文化の伝承といった役割も持っています。

「高原の駅よ、さようなら。浪江の山にトロッコ列車」浪江町にはかつて、山から切り出した木材を町内の貯木場まで運ぶトロッコ列車が走っていました。浪江森林鉄道と呼ばれ、当時県内最大規模の16路線、総延長58.6kmの森林鉄道として知られ、1917年(大正6年)から1962年(昭和37年)まで運営されました。浪江森林鉄道は現在の大堀地区と葛尾村をつなぎ、林業の発展を支えました。浪江町津島地区赤宇木が産地の良質な「津島松」などを県内外に出荷していました。

手入れ前後の森林の写真

手入れ後の森林内に、光が差し込むことで下層植生の発達が促進され、森林の持つ多面機能が増進します。森林は正しく手入れすることにより、私たちの豊かな暮らしへと力を発揮します。



一人ひとりが森林を支える 森林環境税・森林環境譲与税

令和6年度から森林整備やその促進などに充てることにより、森林を守るための「森林環境税」が始まります。

森林を守るためには、知ってもらいたいことがあります。森林の役割や浪江町の森林における課題に対して、私たち一人ひとりがどのようにしたら良いのか。

森林のことを知って、森林を守る意義や私たちにできることを学び、森林を身近に感じ、関心を持ってほしいと思っています。

森林を学ぶ

未来の芽を育てる

森林所有者に代わり、町が主体となって、ふくしま森林再生事業や里山再生事業により森林整備を進めています。また、森林の大切さを学ぶために、なみえ創成小学校・中学校の児童・生徒への森林環境学習にも力を入れています。毎年、震災遺構浪江町立請戸小学校の敷地内において座学と下刈・植樹体験を通して森林の有する多面的機能やその役割の大切さを学んでいます。



下刈体験



植樹体験



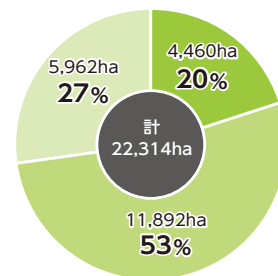
森林の役割を学ぶ

浪江町の森林の今

浪江町は面積の約7割が森林で、山・川・海に囲まれ、豊かな自然に恵まれています。「海を豊かにしているのは山の森」とよく言われますが、これは、山の樹木から落ちた葉や森の土壌に含まれるミネラルが雨水や地下水に溶け込み、川を通じて海に運ばれ、プランクトンが増え、小型魚、大型魚と食物連鎖が進んでいくからです。森林資源が豊かであるほど、そこに繋がる海の生態系も豊かになります。「請戸もの」のおいしさの秘密はここに隠されているのかもしれない。

浪江町が有する広大な森林ですが、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故などの影響により、森林整備の遅れが生じています。

浪江町の森林面積の割合



出典 令和4年福島県森林・林業統計書



おいしさがあった「請戸もの」



浪江町の豊かな山・川・海

森林を守る

森林環境税と森林環境譲与税とは

森林整備などに必要な財源を安定的に確保するために、「森林環境税」として令和6年度から個人住民税均等割と併せて年額1,000円の徴収が開始されます。その徴収が「森林環境譲与税」として、全国の市町村・

都道府県に配分されます。令和5年度は、いこいの村なみえ周辺のなみえ生活環境保全整備計画策定を進めており、同計画をもとに令和6年度から、皆さまが利用できるよう森林の憩いの場として、保全を段階的に整備していきます。また、そのほかにも浪江町の森林・林業・木材産業の再生に向けた事業に活用できるように検討していきます。

※平成26年度から、復興特別住民税として1人年額1,000円徴収されていましたが、この措置は令和5年度で終了しました。

浪江町への森林環境譲与税の配分状況

年度	金額	用途など
令和元年	490万円	基金積立
令和2年	1,042万円	基金積立
令和3年	1,029万円	基金積立
令和4年	1,320万円	基金積立
令和5年	未定	なみえ生活環境保全整備計画策定業務770万円 ほか
令和6年～	未定	なみえ生活環境保全整備、林道復旧などに活用

配分は平成31(令和元)年度から前倒しで実施されており、浪江町では令和4年度分までは基金への積み立てを行ってまいりました。

森林環境税・森林環境譲与税の仕組み



森林環境税

☎住民課税係 ☎0240(34)0224

森林環境譲与税

☎農林水産課農林水産係 ☎0240(34)0246

子供から大人まで 誰もが 森林の守り人

子供たちは森林環境学習を通じて、文化の伝承と豊かな自然環境を大切にすることを育んでいます。そして、私たち大人は森林を守ることで暮らしを守る役割を担っています。一方で全国的に管理されない森林や所有者不明の森林が増えており、浪江町においては「長期避難による森林管理の難しさ」が課題となっています。

今すぐには解決できない課題が残っていますが、私たち一人ひとりが森林を「知る」「学ぶ」「守る」ことで、私たちの暮らし、動植物や海洋生物など多様な生き物の暮らしに恩恵をもたらすことに繋がっているのです。

浪江町では、適正な森林の保安全管理ができるよう森林環境譲与税を活用して、森林整備や事業の促進、浪江町が抱える課題解決に取り組んでいきます。